



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 片倉工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3001 URL http://www.katakura.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 公哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡辺 元康 (TEL) 03(6832)0229  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	35,479	0.7	1,802	41.2	2,270	32.5	1,053	△34.4
28年12月期第3四半期	35,238	△1.7	1,276	—	1,713	949.3	1,605	236.6

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 973百万円(—%) 28年12月期第3四半期 △1,536百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	29.96	—
28年12月期第3四半期	45.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	144,076	79,466	39.2
28年12月期	144,659	78,906	38.4

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 56,488百万円 28年12月期 55,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	10.00	10.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,400	1.0	1,750	17.7	2,500	16.2	1,200	△29.0	34.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年12月期3Q	35,215,000株	28年12月期	35,215,000株
29年12月期3Q	62,989株	28年12月期	62,824株
29年12月期3Q	35,152,088株	28年12月期3Q	35,152,310株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費、設備投資が持ち直していることにより、雇用環境、企業収益が改善しており、全体としては緩やかな回復基調が続いております。

このような環境のなか、当社グループは「成長事業への転換」に向けた基盤構築を図るとともに、「新規事業の創出」に取り組んでおります。繊維・医薬品・機械関連等の製造事業におきましては、より一層のコストダウン努力に加えて、付加価値の高い製品提供や独自性のある製品の開発強化に努めてまいりました。ショッピングセンター等の不動産事業におきましては、社有地開発による収益の拡大、既存商業施設の鮮度向上による収益の安定に努めてまいりました。今年9月には「コクーンシティ」の更なる街機能の充実を図り、ヨガスタジオ・ボルダリングジムの「コクーンアスレックス」をオープンさせております。新規事業におきましては、各分野における事業規模拡大・収益力強化を図るとともに更なる事業の創出に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、繊維事業において、カジュアルインナーの低迷により減収となったものの、機械関連事業において、消防自動車関連で一般車両の受注増で増収となったこと等により、354億79百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

営業利益は、医薬品事業の研究開発費等の販売管理費の減および不動産事業の増益により18億2百万円（前年同四半期比41.2%増）、経常利益は22億70百万円（前年同四半期比32.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億53百万円（前年同四半期比34.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 繊維事業

耐熱性繊維等の機能性繊維が堅調に推移したもののカジュアルインナーが低迷したため、減収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は67億16百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業損益は54百万円の損失（前年同四半期は25百万円の損失）となりました。

## ② 医薬品事業

医薬品事業は、後発品使用促進政策強化による長期収載品の減少等により減収となりました。

この結果、医薬品事業の売上高は110億9百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

営業利益は、研究開発費等の販売管理費の減少により6億12百万円（前年同四半期は1億20百万円の損失）となりました。

## ③ 機械関連事業

トラック部品は前期並み、消防自動車関連は、大容量送水ポンプ車等が減収となったものの、一般消防車の受注増により増収となりました。

この結果、機械関連事業の売上高は79億94百万円（前年同四半期比8.2%増）、営業損益は売上総利益率が低下したため9百万円の損失（前年同四半期は1億86百万円の利益）となりました。

## ④ 不動産事業

不動産事業は、平成28年4月に実施した「コクーン1」リニューアルによるテナント賃料の増加により増収となりました。

この結果、売上高は77億97百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益26億87百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

⑤ その他

その他の区分は、ホームセンター、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売、新規事業である低カリウムレタス、はなびらたけの生産・販売、デイサービス等により構成されております。

ホームセンターは、「マルベリーガーデン」で増収となりましたが、その他の既存店が低迷し減収となりました。新規事業は事業拡大により増収となっております。

この結果、その他の売上高は19億61百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業損益は、新規事業のコストがかさみ2億79百万円の損失（前年同四半期は3億96百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,440億76百万円（前連結会計年度末比5億82百万円減、同比0.4%減）となりました。

これは、現金及び預金が増加したものの受取手形及び売掛金の減少、減価償却による建物及び構築物の減少に加えて前連結会計年度末に比べて投資有価証券の時価が下落したことが主因であります。

(資産の部)

流動資産は、556億39百万円（前連結会計年度末比14億11百万円増、同比2.6%増）となりました。増減の主要な項目は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、仕掛品であり、現金及び預金が増加し、受取手形及び売掛金、仕掛品がそれぞれ12億96百万円、10億88百万円減少しました。

固定資産は、884億37百万円（前連結会計年度末比19億93百万円減、同比2.2%減）となりました。増減の主要な項目は、建物及び構築物、投資有価証券であり、それぞれ9億92百万円、5億47百万円減少しました。

(負債の部)

流動負債は、235億11百万円（前連結会計年度末比2百万円増、同比0.0%増）となりました。増減の主要な項目は、支払手形及び買掛金、短期借入金、その他であり、短期借入金は24億71百万円増加し、支払手形及び買掛金、その他はそれぞれ15億8百万円、11億91百万円減少しました。

固定負債は、410億98百万円（前連結会計年度末比11億44百万円減、同比2.7%減）となりました。増減の主要な項目は、長期借入金、長期未払金であり、それぞれ4億82百万円、2億58百万円減少しました。

(純資産の部)

純資産は、794億66百万円（前連結会計年度末比5億59百万円増、同比0.7%増）となりました。また、自己資本比率は39.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の業績予想につきましては、平成29年8月7日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,136	28,807
受取手形及び売掛金	11,831	10,534
リース投資資産	4,064	4,861
商品及び製品	4,513	4,288
仕掛品	3,124	2,036
原材料及び貯蔵品	2,747	2,647
その他	2,813	2,467
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	54,228	55,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,585	31,592
土地	16,811	16,771
その他(純額)	2,113	2,086
有形固定資産合計	51,509	50,450
無形固定資産	1,350	1,123
投資その他の資産		
投資有価証券	34,635	34,087
退職給付に係る資産	1,681	1,665
その他	1,330	1,216
貸倒引当金	△77	△107
投資その他の資産合計	37,570	36,862
固定資産合計	90,430	88,437
資産合計	144,659	144,076

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,937	5,429
短期借入金	5,253	7,724
1年内返済予定の長期借入金	1,212	1,459
未払法人税等	688	250
賞与引当金	355	793
役員賞与引当金	16	—
その他	9,046	7,854
流動負債合計	23,509	23,511
固定負債		
長期借入金	13,184	12,701
長期未払金	2,361	2,103
繰延税金負債	10,294	10,248
土壤汚染処理損失引当金	63	58
退職給付に係る負債	3,012	2,877
長期預り敷金保証金	9,617	9,641
資産除去債務	1,726	1,718
その他	1,983	1,748
固定負債合計	42,242	41,098
負債合計	65,752	64,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,817	1,817
資本剰余金	332	332
利益剰余金	37,265	37,966
自己株式	△83	△83
株主資本合計	39,331	40,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,349	16,499
繰延ヘッジ損益	72	16
退職給付に係る調整累計額	△184	△60
その他の包括利益累計額合計	16,237	16,455
非支配株主持分	23,337	22,978
純資産合計	78,906	79,466
負債純資産合計	144,659	144,076

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	35,238	35,479
売上原価	22,549	22,735
売上総利益	12,688	12,744
販売費及び一般管理費	11,411	10,941
営業利益	1,276	1,802
営業外収益		
受取利息	19	6
受取配当金	448	428
その他	205	248
営業外収益合計	673	683
営業外費用		
支払利息	151	127
シンジケートローン手数料	2	38
その他	82	50
営業外費用合計	236	215
経常利益	1,713	2,270
特別利益		
固定資産売却益	13	27
投資有価証券売却益	1,008	0
その他	0	4
特別利益合計	1,021	32
特別損失		
固定資産処分損	92	152
減損損失	43	0
割増退職金	—	200
その他	21	12
特別損失合計	157	366
税金等調整前四半期純利益	2,577	1,936
法人税、住民税及び事業税	854	488
法人税等調整額	49	164
法人税等合計	904	653
四半期純利益	1,672	1,282
非支配株主に帰属する四半期純利益	67	229
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,605	1,053

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,672	1,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,005	△391
繰延ヘッジ損益	△116	△56
退職給付に係る調整額	△86	138
その他の包括利益合計	△3,209	△309
四半期包括利益	△1,536	973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,171	1,271
非支配株主に係る四半期包括利益	△365	△297

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	繊維	医薬品	機械関連	不動産	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	7,103	11,173	7,386	7,635	1,939	35,238	—	35,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	0	30	184	219	△219	—
計	7,107	11,173	7,386	7,666	2,124	35,458	△219	35,238
セグメント利益 又は損失(△)	△25	△120	186	2,519	△396	2,163	△886	1,276

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホームセンター、ビル管理サービス、訪花昆虫の製造・販売、低カリウムレタス・はなびらたけの生産・販売、デイサービス等の新規事業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△886百万円には、セグメント間の取引消去△15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△871百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	繊維	医薬品	機械関連	不動産	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	6,716	11,009	7,994	7,797	1,961	35,479	—	35,479
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	0	30	181	217	△217	—
計	6,722	11,009	7,994	7,827	2,143	35,696	△217	35,479
セグメント利益 又は損失(△)	△54	612	△9	2,687	△279	2,956	△1,153	1,802

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホームセンター、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売、低カリウムレタス・はなびらたけの生産・販売、デイサービス等の新規事業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,153百万円には、セグメント間の取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,150百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。